
2021年度第2四半期決算説明会

2021年11月10日

株式会社サカイ引越センター

2021年度第2四半期決算サマリー

需要回復に伴い売上・件数ともに増加したものの、備車費増加が利益面に影響

➤ 備車費増加の背景

3月末の緊急事態宣言解除後、法人需要が一時的に急回復し、供給力を見極めながら受注の取込みを進めておりました。ところが繁忙期の最中、一部備車先においてキャパシティオーバーが発生したことにより、自社作業に切り替え従業員へ過度な負担が掛かることとなりました。よって、第1四半期は勤務調整を目的に急遽備車の再手配を行ったため備車件数が増加し、備車費用は前年比51%増となり、利益を圧迫する結果となりました。

➤ 新型コロナウイルス感染症の影響

弊社では感染防止策を徹底していたにも関わらず、新型コロナウイルスへの感染および濃厚接触による休業者が増加したことや、職域接種のワクチン副反応等による安静を要したことで、予期せぬ稼働減少が起り、作業効率に影響が生じました。

➤ オリンピック・パラリンピックの影響

オリンピック・パラリンピックの開催により、関東圏の問い合わせ件数が4.3%減少し、全国的にも関東圏への引越が減少しました。

また、期間中の交通規制も同エリアの営業活動や引越作業に一時的な影響を及ぼしました。

2021年度第2四半期決算サマリー

下期の見通し

➤ 備車費抑制の対策

一部の業者に偏っていた備車手配について、運用交渉を実施するとともに新規取引先を増やすことで単価の是正をしております。また、突発的な発注増加による混乱回避のため、備車先との情報連携策を講じております。

➤ 新型コロナウイルス感染症

職域接種休暇の付与・ワクチン接種の推奨等により正社員(10月末現在)のワクチン接種率は70%を越えました。新型コロナウイルスの猛威は今後不透明ではありますが、現在の小康状態が継続するようであれば業績への影響は限定的であると見込んでおります。

➤ 事業法人需要の動向

前期に大幅減少した事業法人の需要は、緊急事態宣言の解除に合わせて戻る傾向がでています。下期、特に3月の繁忙期の需要は現時点で全く不透明ですが、多くの顧客では移動転勤ニーズがなくなっていないことを確認しております。

➤ 単価の動向

付加価値をつけた営業で低価格帯単価の比率が低下した分、高価格帯単価の比率上昇となりました。 3

決算概要

1. 連結決算概要

▶ インターネットによる

受注などで件数を取り込み、売上高前年対比4.9%増、経常利益14.8%減

(単位:百万円)	'20年9月期 実績	'21年9月期 実績	前年 増減比	計画 増減比
売上高	48,137	50,492	+4.9%	+1.1%
営業利益	5,891	4,859	△17.5%	△21.3%
経常利益 (親会社に帰属する)	6,094	5,194	△14.8%	△18.4%
当期純利益	4,070	3,231	△20.6%	△21.8%
EPS	198.24	157.40	△20.6%	△21.8%
ROE	6.1%	4.4%	-	-
配当	15円	30円	+100%	-

2. セグメント別売上高

➤ 引越、電気工事、クリーンサービス、リユースの各事業とも新型コロナの影響等を受けるも増収

(単位:百万円)	'20年9月期	'21年9月期	増減比
引越事業	42,373	44,537	+5.1%
電気工事業	1,926	1,964	+1.9%
クリーンサービス事業	2,080	2,110	+1.4%
リユース事業	1,507	1,636	+8.6%
その他	249	245	△2.0%
合計	48,137	50,492	+4.9%

(注) 金額は内部消去後の外部売上高です。

電気工事業

サカイの件数増加に伴い増収増益

クリーンサービス事業

新型コロナの影響あり伸び悩んだが
増収増益

リユース事業

前期が巣ごもり需要と、金の高騰で順調
だったが、今期は平年並にもどりつつも増収
経常利益は仕入コストアップで減益

3. 個別決算概要

▶ 今期も新型コロナウイルスの影響を受け苦戦、
2021年9月期の売上高は前期比5.0%増、経常利益は前期比10.6%減

(単位:百万円)	'20年9月期	'21年9月期	増減比
売上高	42,711	44,858	+5.0%
営業利益	5,451	4,367	△19.9%
営業利益率	12.8%	9.7%	△3.1pt.
経常利益	5,577	4,988	△10.6%
純利益	3,718	3,439	△7.5%
純利益率	8.7%	7.7%	△1.0pt.

引越単価:105,954円
(前年同期比 1.8%増)

取扱引越件数:420,350件
(前年同期比 3.2%増)

営業利益には2020年度の
賞与引当金取り崩し(3.3億円)
今期はコロナ手当(3.2億円)の影響有り

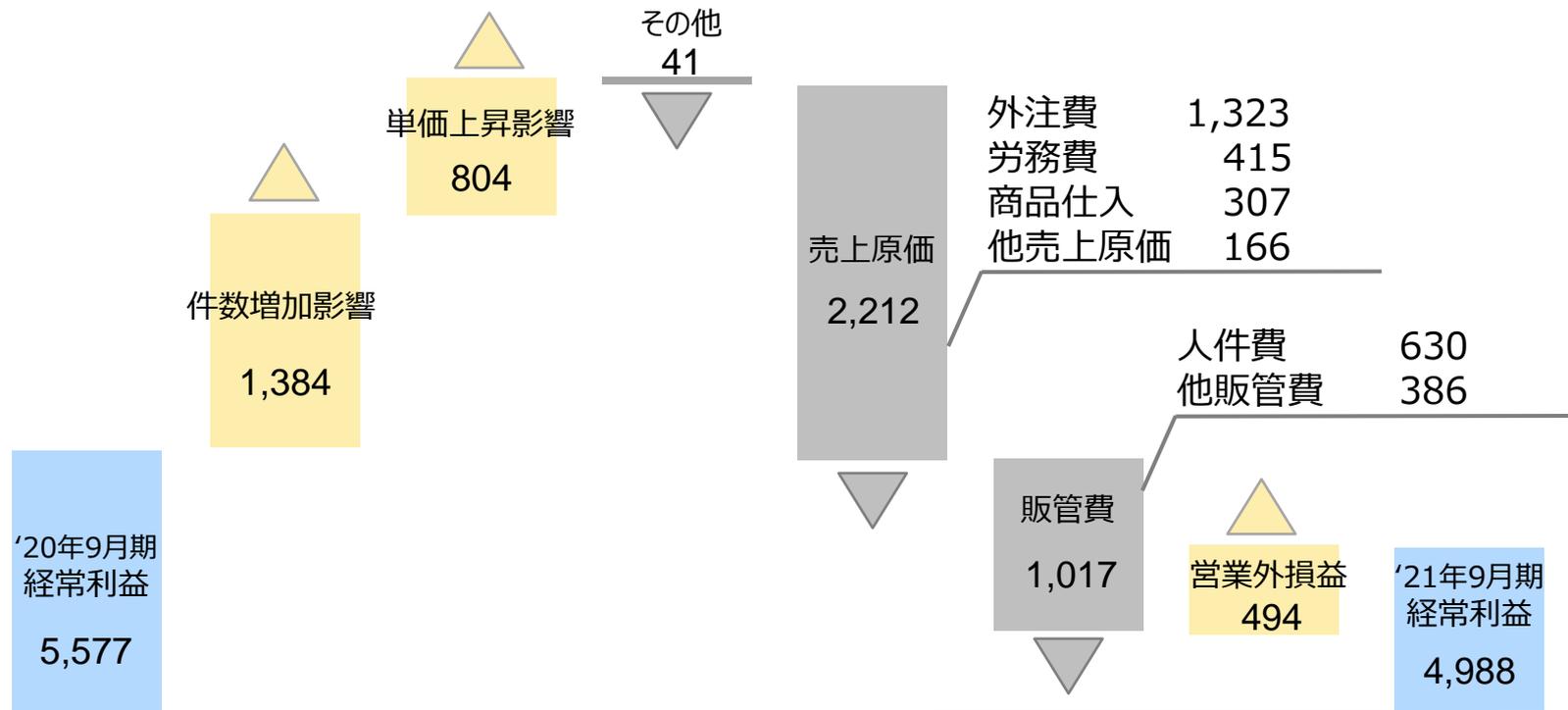
4. チャネル別売上高（個別）

- ▶ 新型コロナの影響により法人需要の内、転勤需要が落ち込んだが、インターネットによる受注などで件数増加し売上は5.0%増

(単位:百万円)	'20年9月期	'21年9月期	増減比
売上高	42,711	44,858	+5.0%
法人	20,497	21,092	+2.9%
うち事業法人※	7,850	7,676	△2.2%
インターネット	15,297	16,867	+10.3%
一般	6,579	6,578	△0.0%
その他	338	321	△5.0%

※事業法人影響額：△174百万円

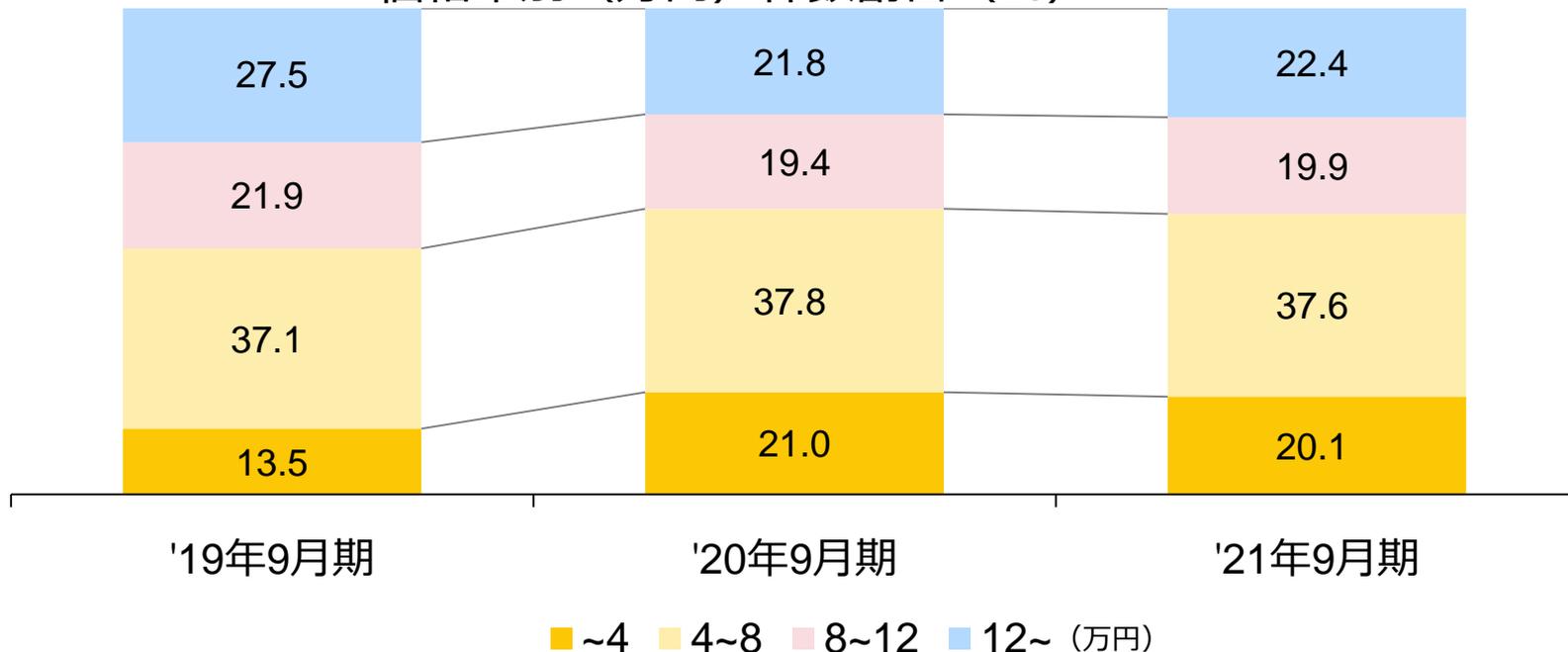
5. 個別経常利益の要因分析



6. 件数・単価の動向

- ▶ 低価格帯の件数は変わらずだが、付加価値をつけた営業で
上期の単価は前年同期比1.8%プラス

価格帯別（万円） 件数割合（%）



7. 連結貸借対照表

➤ 新規支社展開と寮の取得による固定資産増加

(単位:百万円)	'21年3月期(A)	'21年9月期(B)	(B) - (A)
流動資産	31,766	24,275	△7,491
現金及び預金	22,588	20,048	△2,539
受取手形及び売掛金	7,516	2,533	△4,983
固定資産	67,722	68,753	+1,031
有形固定資産	62,651	64,142	+1,490
無形固定資産	584	639	+54
投資その他	4,486	3,972	△513
資産合計	99,488	93,029	△6,459
流動負債	21,678	13,403	△8,275
買掛金	5,350	2,421	△2,929
短期借入金	1,285	1,551	+266
固定負債	5,684	5,619	△64
長期借入金	2,363	2,266	△96
純資産	72,125	74,006	+1,881
負債・純資産合計	99,488	93,029	△6,459
有利子負債合計	3,648	3,929	+280
(有利子負債比率)	3.7%	4.2%	

設備投資額9億5千8百万円

主な設備は
 浦和支社建物構築物：354百万円
 富山支社建物構築物：201百万円
 その他：403百万円

支社展開&車両台数

170拠点・**203支社** (今期+2支社)
 今期開設支社
 (埼玉県) 浦和支社
 (愛知県) 豊田支社

事業用車両 2,773台(前期比+2.8%)
 全車両台数 3,984台(前期比+2.0%)

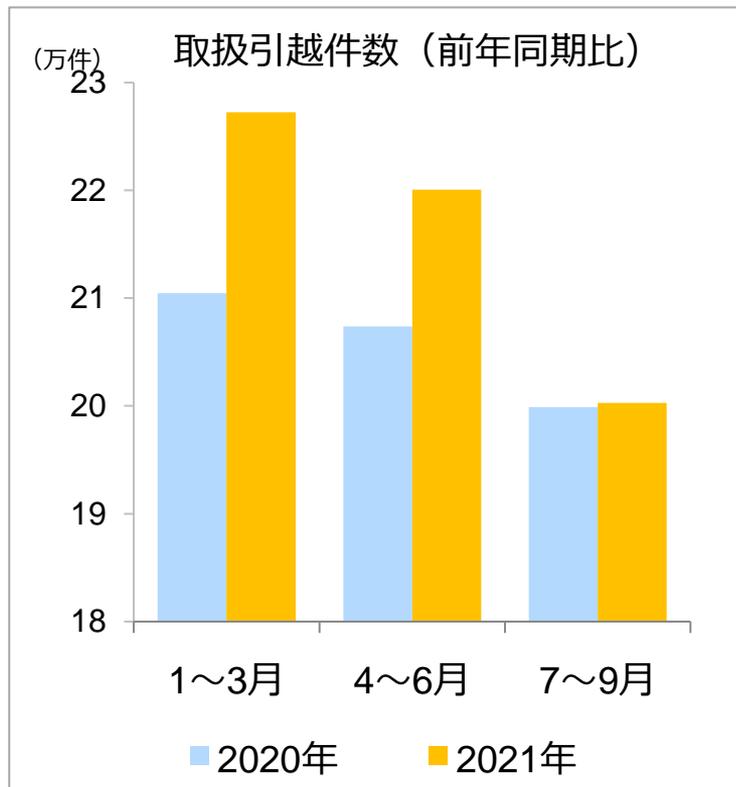
8. 連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)		'20年9月期(A)	'21年9月期(B)	(B) - (A)
		3,450	857	△2,593
営業活動によるCF	税引前当期純利益	6,097	5,186	△910
	減価償却費	701	608	△93
	売上債権増減	4,960	3,995	△964
	仕入債権増減	△2,353	△3,006	△652
	各種引当金増減	△611	△312	+299
	その他	△3,417	△2,943	+473
	法人税支払額	△1,925	△2,670	△745
		△44	△1,722	△1,678
投資活動によるCF	有形固定資産取得	△765	△944	△179
	定期預金増減	△67	△64	+2
	その他	787	△713	△1,500
		△2,587	△1,738	+849
財務活動によるCF	短期借入金増減	400	400	-
	長期借入金増減	△820	△628	+191
	配当金支払	△923	△1,334	△410
	その他	△1,242	△174	+1,067
現金及び現金同等物の期末残高		16,695	19,111	+2,415

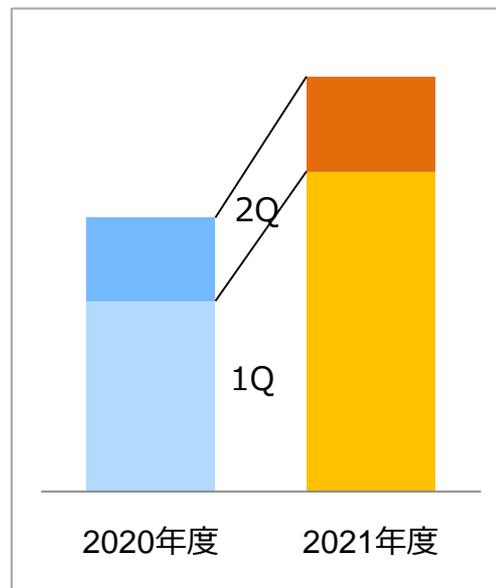
第2四半期の売上利益変動要因について

9. 備車費増加の要因 (第1Q)

▶ 需要の急回復により取扱引越件数増



▶ 備車件数の増加 51%増 



▶ 備車先のキャパシティオーバーにより、従業員への負担増
⇒ ドライバー不足に陥る

10. 備車費増加の要因（第2Q）

- ▶ 新型コロナウイルス感染拡大
クラスター防止に伴う臨時休業者増

> 休業者数及び日数（正社員のみ）

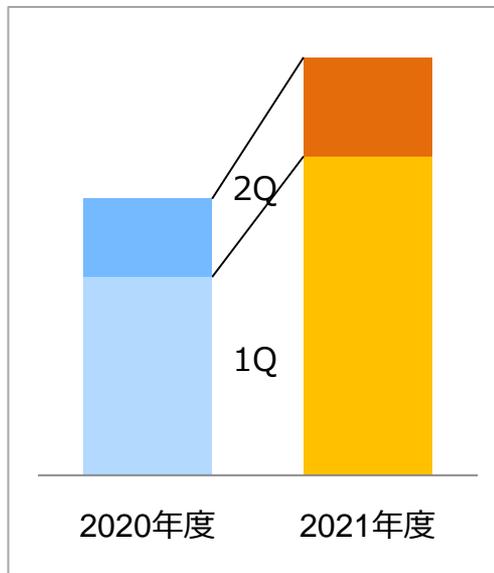
人数	229名
日数	2780日

> 引越件数で換算すると
2780日×1.5件/日

4170件

引越人員の臨時手配
(正社員のみ)

- ▶ 備車費の増加 51%増 

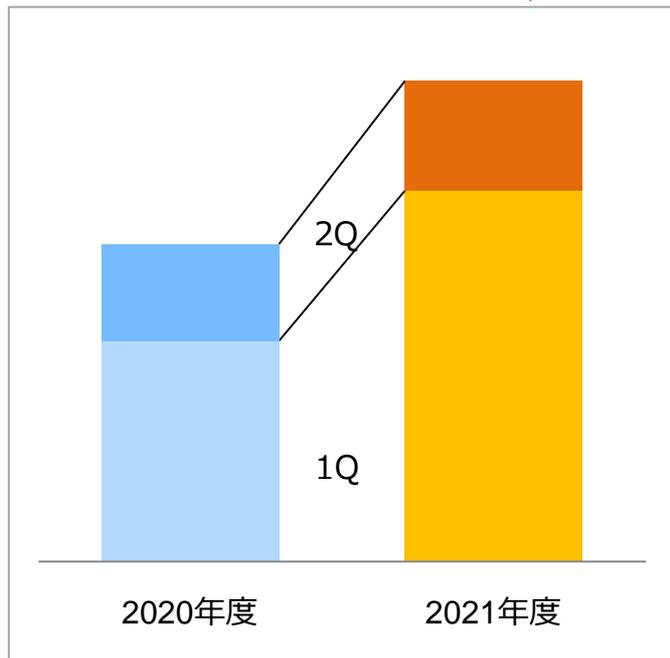


- ▶ 新型コロナウイルスによる臨時休業者増
職域接種のワクチン副反応等による安静のため稼働が減少
⇒ 緊急的な対応で備車単価も増加

11. 備車費増加の要因

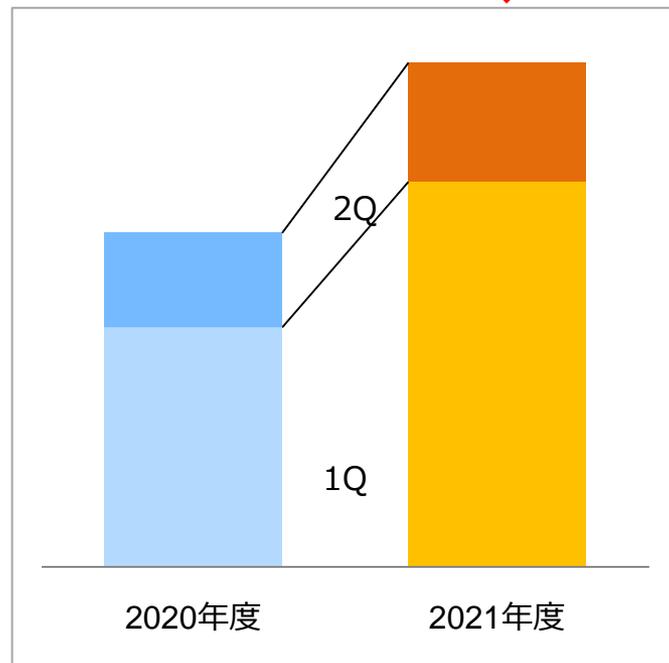
(パートナー備車費除く)

➤ 備車件数の増加 51%増 ↗



➤ 第1Qは、備車先のキャパシティオーバーにより、従業員への負担増
⇒ドライバー不足により備車件数増加

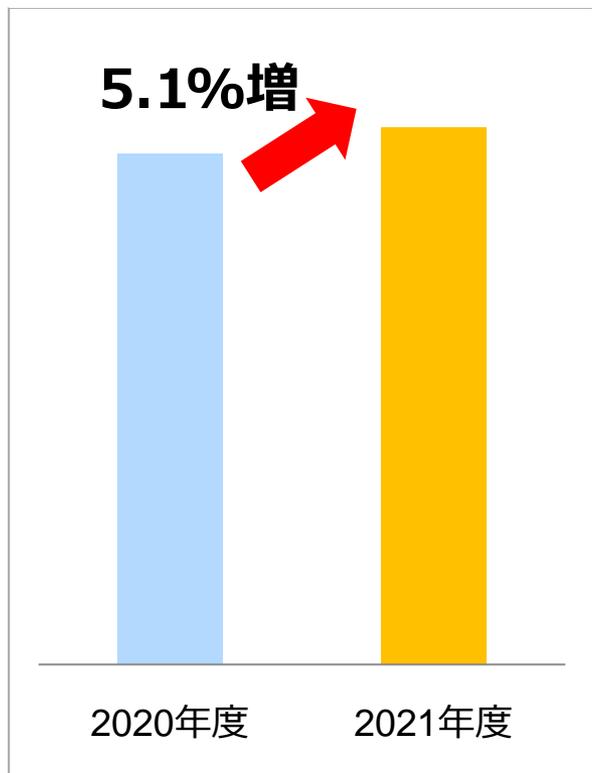
➤ 備車費の増加 51%増 ↗



➤ 第2Qは、新型コロナウイルスによる臨時休業者増のため、備車件数増加

12. 人件費増加の要因

▶ 総人件費の増加



▶ 前期の賞与繰入取り崩し
による経費減少

▶ コロナ禍手当

影響額
約 6.5 億円

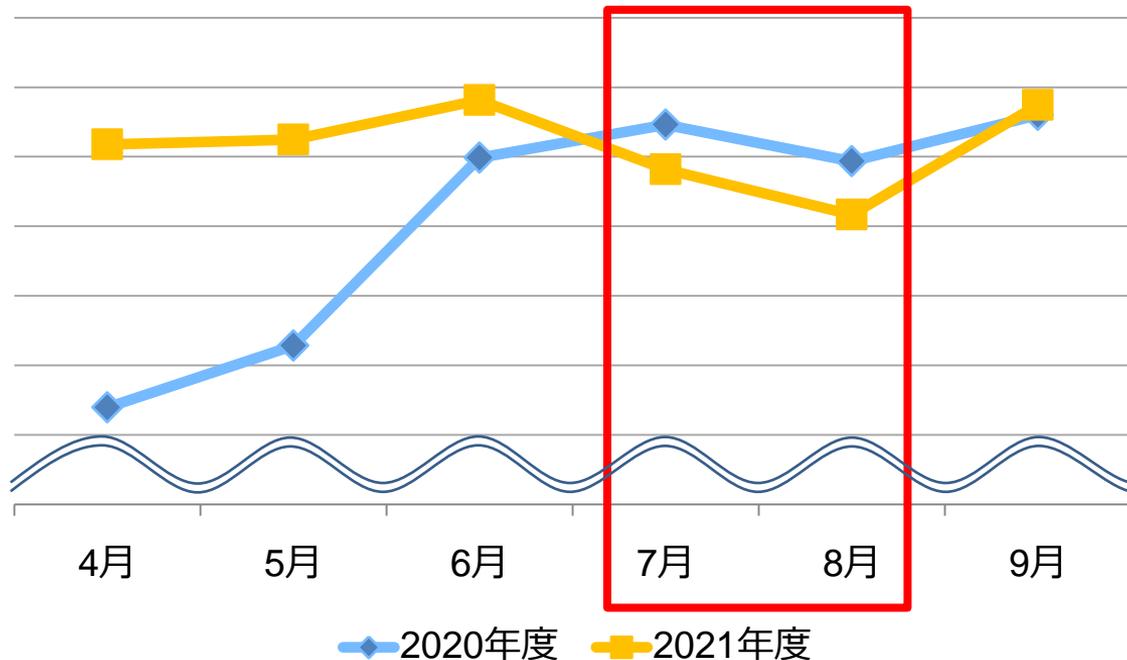


前期の特殊要因及び
リテンションに繋げる取り組みとして
特別手当（コロナ禍手当）を支給

13. 東京オリンピック・パラリンピックの影響

▶ 東京オリンピック・パラリンピックの影響

関東圏 受付件数前年対比



▶ 交通規制等を想定し
受注調整

▶ 開催期間中の
受付件数減少

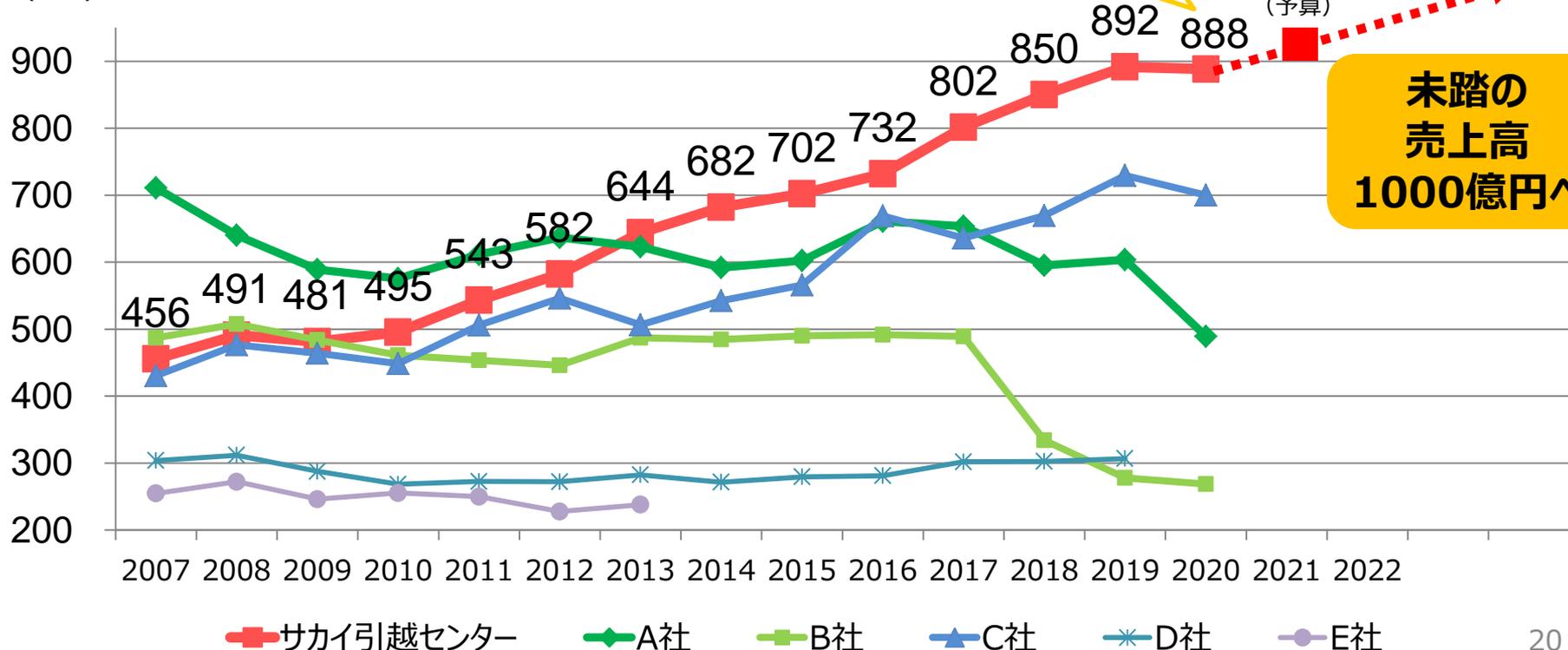
中長期戦略と進捗状況

14. 業界を取り巻く環境

～業界の業績～

過去13年間の引越業績推移

(億円)

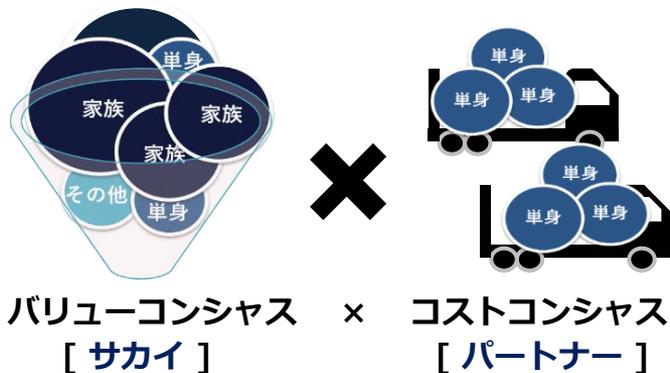


15. サカイの成長戦略1 ～共創の経営～

～サカイ×パートナー企業～

お客様の要望に応えるべく創業50年の引越ノウハウを以って
パートナー企業への引越技術の教育を行い、共に成長・創造する

家族・単身引越のベストミックス



サカイ品質の技術教育



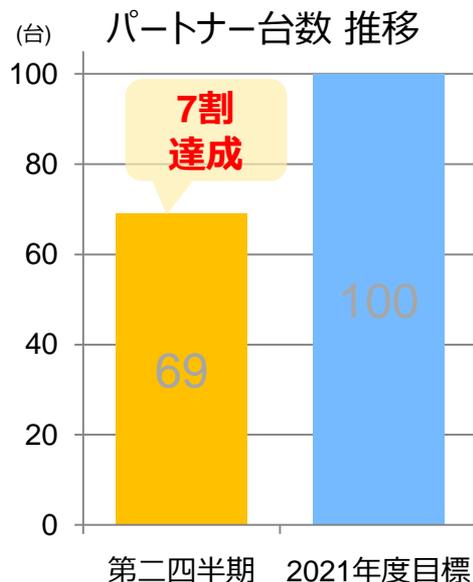
▶ アンケート評価の確認とフィードバックを実施

16. サカイの成長戦略1 ～共創の経営～

～サカイ×パートナー企業～

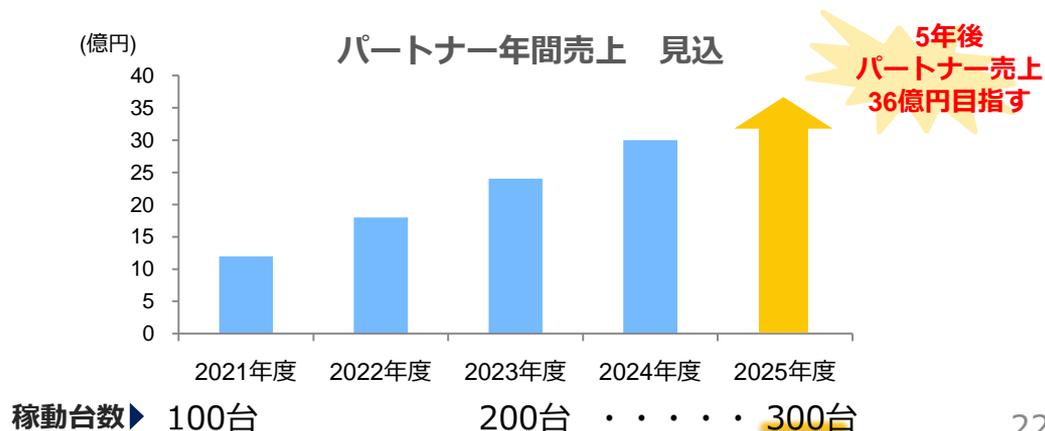
お客様の要望に応えるべく創業50年の引越ノウハウを以って
パートナー企業への引越技術の教育を行い、共に成長・創造する

➤ 2021年9月末現在



➤ 自前主義から脱却し、
新たなビジネスモデルの確立を図る

目標 2025年度 300台稼働



17. サカイの成長戦略2 ~人材活用~

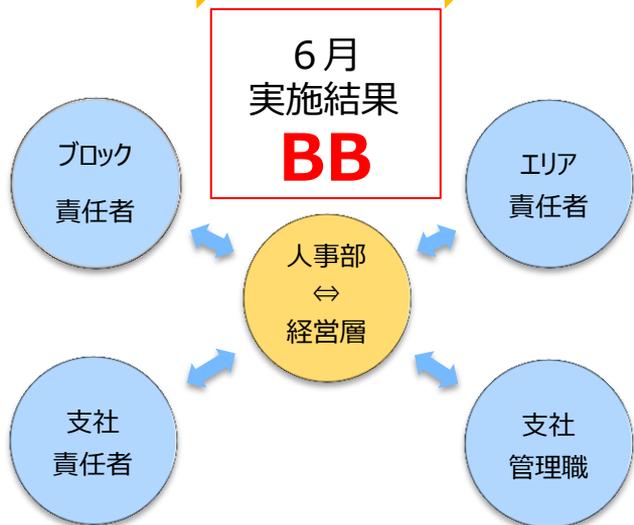


エンゲージメント評価を導入し、働きがいの創出へ

エンゲージメント評価開始

➤ 2021年6月

全従業員へ実施 ➤ スコア可視化 ➤ 改善項目への対応



エンゲージメントスコア目標 BB⇒A

➤ 従業員のエンゲージメント向上への取り組み
 企業と従業員が相互理解を深めることで、
 従業員の働く意欲を刺激 ⇒ 企業価値の向上

- モチベーションクラウドの活用
- Step① 全従業員への実施
 - Step② スコアの可視化
 - Step③ 改善項目への対応



スコア	33	39	42	45	48	52	55	58	61	67	
エンゲージメント・レーティング	DD	DDD	C	CC	CCC	B	BB	BBB	A	AA	AAA

面談とフィードバックを重ねエンゲージメント向上へ

18. グループ戦略

➤ リユース 事業

- ・2021年 9月
春日部市 出店



➤ 電気工事 事業

- ・2021年度
東北地方 出店予定

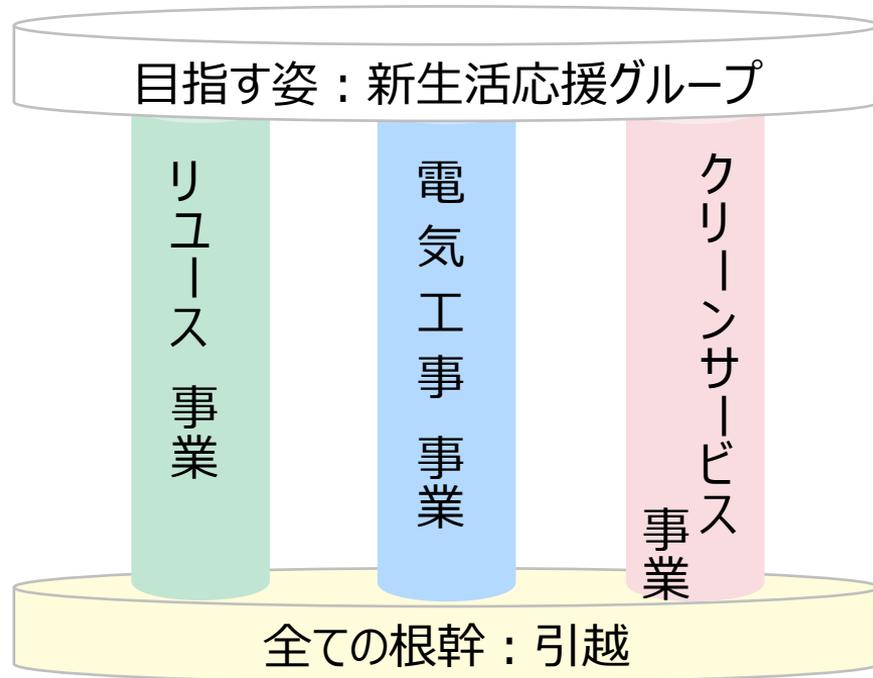


➤ クリーンサービス 事業

- ・2021年 9月
大阪支店 出店



➤ 今後のグループ戦略について



引越を土台に3本の柱を強化

業績予想

19. 連結業績予想

(単位:百万円)	2020年度		2021年度		セグメント別 (単位:百万円)	売上高	経常利益
	実績	予想	前期比				
売上高	100,333	103,480	+3.1%		引越業	92,181	10,961
営業利益	11,132	11,675	+4.9%				
経常利益	11,728	11,944	+1.8%		電気工事業	3,890	451
当期純利益	7,697	7,962	+3.4%		クリーンサービス事業	4,259	372
EPS	374.93	387.82	+3.4%		リサイクル事業	3,150	160
ROE	11.2%	11.0%	-				
配当	80円	90円	+12.5%		総計	103,480	11,944

20. 個別業績予想

(単位:百万円)	2020年度 実績	2021年度 予想	前期比
売上高	89,509	92,181	+3.0%
売上総利益	35,573	36,596	+2.9%
営業利益	10,266	10,785	+5.1%
営業利益率	11.5%	11.7%	+0.2pt.
経常利益	10,771	10,961	+1.8%
当期純利益	7,124	7,453	+4.6%
純利益率	8.0%	8.1%	+0.1pt.

チャネル別 (単位:百万円)	2020年度 実績	2021年度 予想
一般	13,319	10,940
インターネット	32,778	34,583
法人	42,748	46,012
その他	663	645
合計	89,509	92,181

21. 財務戦略と投資方針

➤ 投資・配当の考え方を見直し、企業価値最大化のためのバランスをとる

成長投資

- 生産性向上のためのIT投資（DX）やマーケティング投資にシフト
- 従来からの出店投資は、エリアを厳選し、所有に拘らずに実施
- また、「新生活応援グループ」に向けたM&Aも検討
- いずれにしても、投資実行にあたっては資本生産性を考慮する

配当

- 従来からの安定配当を維持しつつ、連続増配の実現を目指す
- 2021年度は、一株当たり【90円】を予定する

TOPICS

22. トピックス

▶ 東証新市場区分プライム市場 選択申請を行いました

2021年8月3日
取締役会決議

2021年9月6日
市場選択の意向に関する取締役会の
決議内容を証する書面 申請

▶ 自己株式取得に係る事項の 決定に関するお知らせ

2021年10月29日発表
取得する株式の種類：当社普通株式
取得し得る株式の総数：200,000株（上限）
株式の取得金額の総額：1,100百万円（上限）
取得期間：2021年11月1日～2022年3月31日
取得方法：自己株式取得に係る取引一任契約に
基づく市場買付

▶ 意図目的
株主還元の充実及び資本効率の向上

23. トピックス

▶ 和歌山市に向け緊急支援物資輸送に協力



▶ 食品ロス削減環境大臣表彰を受けました



24. トピックス

▶ 2021 近畿地方整備局・堺市合同
総合防災訓練に参加



▶ 接客サービスと引越技術を競う
引越サービスコンテスト「専務杯」を実施



25. 個別四半期売上・経常利益・件数・単価

	売上高		経常利益		取扱引越件数		単価		
	(百万円)	前年同期比	(百万円)	前年同期比	(件)	前年同期比	(百円)	前年同期比	
2018年度	4~6月	23,332	+3.6%	4,728	△4.6%	197,440	+1.0%	1,174	+2.6%
	7~9月	18,048	+2.8%	1,309	△4.4%	177,615	△0.1%	1,007	+2.8%
	10~12月	18,170	+7.1%	1,323	+18.5%	182,018	+1.7%	990	+5.2%
	1~3月	26,066	+10.2%	3,113	+21.2%	192,041	+3.2%	1,349	+6.7%
2019年度	4~6月	24,664	+5.7%	5,082	+7.5%	203,023	+2.8%	1,207	+2.8%
	7~9月	19,493	+8.0%	1,517	+15.9%	183,626	+3.4%	1,052	+4.5%
	10~12月	18,647	+2.6%	1,205	△8.9%	186,578	+2.5%	990	+0.1%
	1~3月	27,018	+3.6%	2,823	△9.3%	210,453	+9.6%	1,275	△5.5%
2020年度	4~6月	23,158	△6.1%	4,021	△20.9%	207,377	+2.1%	1,108	△8.2%
	7~9月	19,552	+0.3%	1,556	+2.6%	199,902	+8.9%	969	△7.9%
	10~12月	19,236	+3.2%	1,295	+7.4%	199,336	+6.8%	956	△3.4%
	1~3月	27,561	+2.0%	3,897	+38.1%	227,230	+8.0%	1,205	△5.5%
2021年度	4~6月	24,964	+7.8%	3,636	△9.6%	220,061	+6.1%	1,127	+1.7%
	7~9月	19,894	+1.7%	1,352	△13.1%	200,289	+0.2%	985	+1.6%
	10~12月								
	1~3月								

26. 会社概要

- 商号 株式会社サカイ引越センター
(Sakai Moving Service Co.,Ltd.)
- 創業 1971年11月(昭和46年)
- 設立 1979年9月19日(昭和54年)
- 本社 〒590-0823 大阪府堺市堺区石津北町56番地
56,ishidu-kitamati,sakai-ku,sakai city,osaka 590-0823,Japan
- 主な事業内容 引越運送、引越付帯サービス業務
- 資本金 4,731百万円
- 発行済株式数 21,162,000株
- 代表者 代表取締役社長 田島 哲康
- 従業員数 6,383名
- 決算期 3月31日
- 上場市場 東京証券取引所 市場第一部 2007年 3月1日(平成19年)
- 証券コード番号 9039
- 株主数 5,497名

2021年9月30日現在

本資料に関する注意事項

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すため慎重に行なっておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれています。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。